

みんなの文芸



俳句 うらほろ俳句会

老斑を麦わら帽子目深にす 井下まさの
 梅雨冷えや一枚はおり又はおる 大山みどり
 藤の花となりの大樹借りて咲き 黒田ちえこ
 エゾニユウのどつしり咲いて蝦夷地かな 柴田 岱華
 尋めゆきて流れる汗に蝉しぐれ 菅谷 日月
 蝦夷丹生や百五十年は白いまゝ 福原 仁子
 骨抜き鯖の味噌煮を待つベツト 山村 幹雄

川柳 浦幌川柳会

課題吟 思い
 この思い綴れぬ儘に日向ぼこ 阿部 麗紅
 寂しくて思い差しつゝ猫撫でる 加藤 未貴
 年ごとに思い出します里の家 橋本 葉子
 久しぶりイ思い出せないその名前 大山 研
 思い出は妻と巡りし二人旅 山村 幹雄

川柳 上浦幌句の会

梅雨入りに気温の変化衣替え 笹島カヨ子
 口ほどにきかぬ身の夏の日 河村みよ子
 野菜苗しつかり根づけと土をかけ 芳川 乙美
 花の苗きれいに咲けよと頭なで 加藤 明敏
 人目忍び子育て励む雀たち
 石楠花の真紅に魅せられ雨上がり
 野も山も一面青く夏の空
 運動会頑張る姿応援だ

短歌 心友愛会

野山みな緑ふかまり気持ちよく 中田 麗子
 友と語らい笑顔がみちる
 一人身で暮らす淋しさ癒すため 小澤 つや
 心友愛会に参加しています
 退屈で猫とかくれんぼ見つからず 山岸 明美
 おやつとチュルチュルでおびき出す

山菜の今年のフキは堅いです 浅野 京子
 色々工夫し煮炊きしてみます
 これから先私生活が明るく 前川 静江
 送れるように祈って過ごす

会のため焼肉やいてレタスにまいて 小川 房子
 皆の笑顔嬉しい想い
 餌を狙う眼球鋭く鷲のごと 佐藤 成子
 我もなりたや羽根あるならば
 故郷の山裾かけ来る初夏の風 星 愛子
 我を誘いて亡き母しのぶ

編集後記

■この広報誌が皆さんのお手元に届くのは夏休み時期以前、夏休みの宿題で友人が「ウォーリーを探せ」で読書感想文を書いたことを編集後記に載せましたが、その年の私はいとうと、推理小説で読書感想文を書いていました。

■登場人物のほとんどいや葛藤などを読み解き、犯人の過去や動機、トリックは明かしても、最後まで「まさかあの人が犯人だったなんて」と誰が犯人は分からないようにし、皆が悶々とすることに全力を注いだ結果、先生から「読書感想文ではなく本の紹介文」とダメ出しをされ、クラス最低の評点となりました。

■こんな結果にならないよう学生の皆さんは図書館で開催される読書感想文の書き方講座に参加してみたいかがでしょうか。(山)

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。